※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	演奏研究	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

保育士、幼稚園教諭、小学校教諭などをめざす生徒向けに、ピアノの実技指導のほか、音楽を使った教育に関する知識・技能の習得に創造的に取り組みます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　創造的な音楽の表現をするために必要な基本的な知識・技能を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】
　音や音楽のもつ要素を知覚し、創造的に表現する。音楽が生活や感情にもたらす効果や作品の音楽的な特徴などを考慮し、表現方法を工夫する。
【学びに向かう力、人間性等】
　主体的に創造活動に取り組み、他者と協同して表現する喜びを感じながら学習する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想や音楽の構造ついて理解するとともに創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な音色や奏法、音のつながり方や強弱などを表現する技能を習得している。	音や音楽のもつ要素を知覚し、そのよさや特性、変化などを感じ取り、自己のイメージする表現内容に合わせて創意工夫する能力を向上させている。	音楽の表現活動の喜びを味わいながら、主体的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	ピアノ技法	任意の楽曲の演奏	a:手の形や姿勢を意識し、はっきりとした音色・音量で演奏することができる。 b: 音や音楽のもつ要素を知覚し、曲想を感じ取りながら喚起された自己のイメージや感情を表現することができる。 c: 表現活動の喜びを味わいながら主体的に活動に取り組もうとしている。	実技テスト	実技テスト	観察
	楽典	読譜に必要な知識についての学習	a:読譜に必要な知識を習得することができている。 c: 主体的に活動に取り組もうとしている。	ワークシート		観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度